



洪水ハザードマップの 周知徹底!



洪水ハザードマップ意見交換会実施 | 2018. 9. 10

9月10日(月)青森市幸畑の青森県東青地域県民局地域整備部大会議室において、県内の大規模水害の7圏域減災対策協議会(全40市町村と国・県合同)で、今般の水害の被害状況の説明と合わせ、**洪水ハザードマップ(災害予測図)の作成・周知にかかる意見交換**を行い、**迅速な周知とハザードマップの取組の更なる充実を図ることを確認**しました。

意見交換会では7月の西日本豪雨の概要と対応について説明し、浸水地域がハザードマップに示した想定区域とほぼ一致し、ハザードマップが危険箇所の把握に有効であるが、住民からハザードマップの存在を知らない、避難場所がわからない、内容を理解していないなどの課題があったことを紹介しました。

青森県内の洪水ハザードマップは作成が必要な市町村はすべて作成済みですが、**今後は、想定最大規模の洪水に対応したハザードマップを2020年度までに作成**していくことを各市町村と確認しました。



■防災情報をチェック!

クリック♪ 河川ライブカメラ・水位

クリック♪ 河川防災情報ポータルサイト

<http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/river/portal/index.html>